

# 第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

## 男子1回戦

試合日	2023年2月11日
会場	エコパアリーナ
コート	Cコート
開始時間	12:50

TEAM A		TEAM B
県立大垣工業 (岐阜)	46	77 中部大学第一 (愛知)
	15 - 20	
	12 - 18	
	9 - 25	
	10 - 14	
	OT	

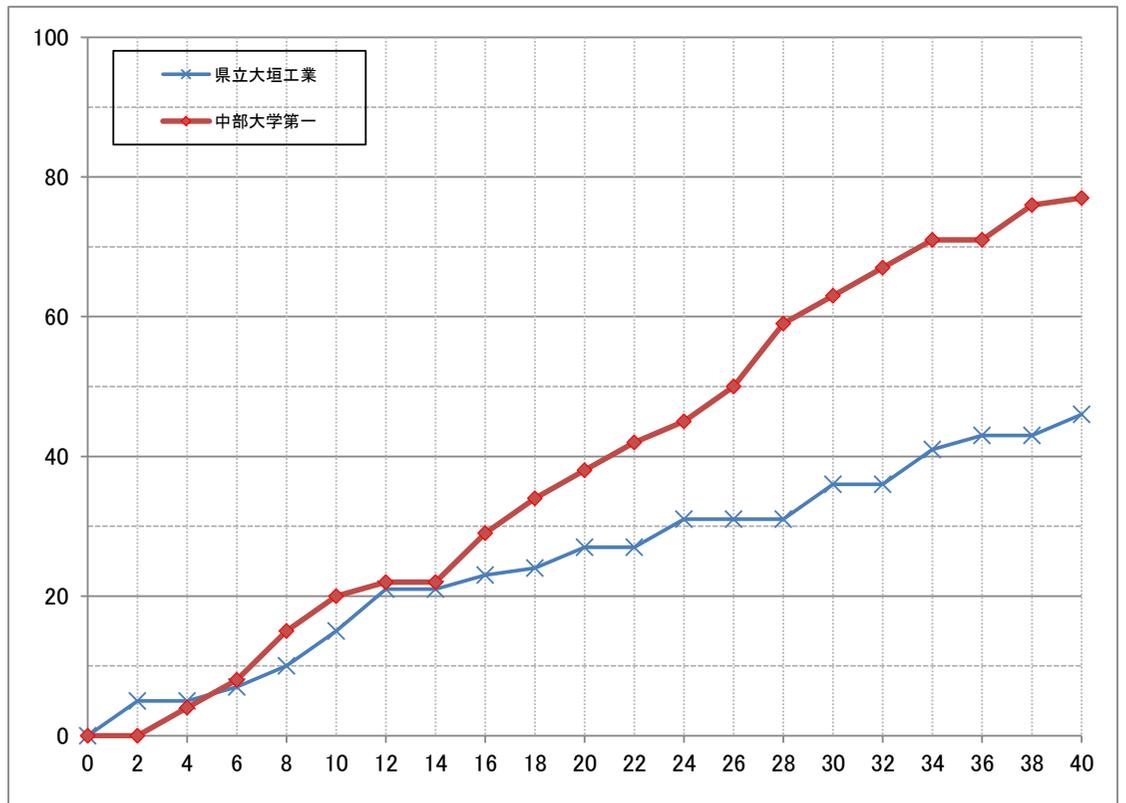
### TEAM A 県立大垣工業 (岐阜)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
2	*	木野来優	19	3	2	6	3
6		横川大和	0	0	0	0	0
11	*	杉山瑛飛	2	0	0	2	3
12		保母飛勇	0	0	0	0	0
14		原悠介	3	1	0	0	1
15	*	菱田武流	11	3	1	0	2
17		松田崇仁郎	0	0	0	0	0
18	*	名波亮佑	2	0	1	0	4
21		塩谷汐音	0	0	0	0	0
23	*	長良優希	9	0	4	1	1
24	DNP	野村悠翔	0	0	0	0	0
27	DNP	子安陽太	0	0	0	0	0
31		五十川朱理	0	0	0	0	0
35	DNP	木之下宗希	0	0	0	0	0
77	DNP	大久保弾心	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			46	7	8	9	14

### TEAM B 中部大学第一 (愛知)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		小林蒼空	14	2	4	0	0
5	*	竹本義希	0	0	0	0	1
6		外山颯紀	4	0	2	0	4
7	*	佐渡樹也	6	0	3	0	1
8		ンベイエムハメド	9	0	4	1	0
9		安楽武龍	5	1	1	0	3
10		坂井雄一郎	9	2	1	1	1
11		新井遠弥	2	0	1	0	2
12	DNP	伴航志	0	0	0	0	0
13		辻村昂汰	0	0	0	0	0
14	*	前田凌侑	5	1	0	2	1
15	*	トゥレサリウ	11	0	4	3	1
16		アグイ要哉	2	0	0	2	0
17		川井悧	2	0	1	0	0
18	*	坂本康成	8	0	4	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			77	6	25	9	14

## 【得点経過】



## 【戦評】

1Q  
岐阜県予選3位の県立大垣工業と愛知県予選2位の中部大学第一が対戦する1回戦は、両チームともにマンツーマンでスタート。大垣工業#23長良のレイアップで先制する。中部大学第一は、#15トゥレのインサイドで攻めようとするがパスミスが起こり、攻めあぐむ。中部大学第一は#18坂本のレイアップでやり返すが、お互いにシュートがなかなか決まらない時間帯が続く。次に中部大学第一#15トゥレのインサイドのシュートが決まり始める。大垣工業7-12中部大学第一となったところで大垣工業はタイムアウトをとり、その後大垣工業#15菱田が3Pを決める。中部大学第一はゾーンプレスを仕掛け、#4小林の3P、#10坂井のリバウンドシュートなどで加点していく。第1Qは大垣工業15-20中部大学第一で終了する。

2Q  
大垣工業はハーフコートゾーンのダブルチームをしかけ、リバウンドからの速攻で#2木野がレイアップ、3Pと連続得点し、1点差とつめよる。中部大学第一はファウルを誘い、フリースローで加点していく。中部大学第一#7佐渡がジャンプシュート、#6外山がレイアップと連続得点し、6点差が開いたところで大垣工業はタイムアウトをとる。しかし、大垣工業のシュートがなかなか決まらず、中部大学第一はバス回しのテンポが良くなり、オフェンスが機能し始め、中部大学第一#4小林が3Pを決めるなど、リードがじわじわ開いていく。第2Qは大垣工業27-38中部大学第一となり、後半へ。

3Q  
第3Qもお互いにマンツーマンで戦う。中部大学第一は#10坂井の3Pや#15トゥレのフリースローなどで加点していく。大垣工業は#15菱田の3Pで反撃するが、あとが続かない。大垣工業はシュートミスやターンオーバーが続く、4分間ノーゴールとなる。中部大学第一は#8ンベイエのゴール下シュート、#9安楽の3Pで加点し、大垣工業31-55中部大学第一となったところで大垣工業がタイムアウト。その後、大垣工業#2木野がフリースローと3Pを決め、一矢報いるが、大勢は変わらず、大垣工業36-63中部大学第一で第3Qを終了。

4Q  
最終Qは、大垣工業#2木野がフリースロー、ジャンプシュート、#23長良が速攻からのシュートを決め、流れを引き寄せる。ミスの目立った中部大学第一だが、#9安楽が1on1から、#14前田が3Pを落ち着いて沈め、簡単に主導権を渡さない。その後は一進一退の攻防が続く。大垣工業46-77中部大学第一となり、終始、激しいプレッシャーのディフェンスを続けた中部大学第一が2回戦に駒を進めた。敗れた大垣工業だったが、5人が連携した多彩なオフェンスが光ったゲームであった。